



第 70 号

# 千 町 田

発行元:(農)のきの郷  
安来市利弘町 922-3  
Tel/Fax:22-2580  
発行責任者:河津 一行

## 一年を振り返って

### 専務理事 内田卓実

早いもので今年もあと一か月を切りました。今年は災害の年と言

われており、幸いこの地域では大きな自然災害には見舞われませんでした。全国的にみると甚大な災害で命を奪われ、また生活環境を破壊されていままなお避難所で生活している人もおられます。謹

んでお見舞いを申し上げます。誠に一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

山陰地方は全国的にみても大きい災害が少ない所だといわれていますが、近年ではどこでも起こる可能性ががあります。実際に安来市でも大雨による災害が発生しており、災害時での対応の訓練また準備は重要度を増してくると思われ

ます。また、今年の夏は災害級の暑さであり全国の夏の平均気温が平年と比べて約1.8度高く昨年と並んで気象庁が1898年に統計を取り始めてから最も暑い夏でありました。その猛暑の影響で野菜などが不作になり価格が高騰しなか

か落ち着きません。高騰したといえれば米の価格ですが原因は米が不足したことです。米不足は複数の要因が重なった結果だと考えられています。まず米作り農家の減少と前年度の米の不作が挙げられます。さらに、今年

は災害などの影響により販売数量が多くなりました。5月ごろから販売数量が伸び始め、8月19日〜25日の期間では前年比約49%増加しました。これは8月に発生した日向灘の地震に続いて南海トラフ巨大地震の臨時情報が出されたり台風10号が各地で大雨暴風の猛威を

ふるったりしたこと、消費者が米の買いだめを行ったことが要因のひとつと考えられます。そのため、収穫数が減っているにもかかわらず災害などを理

か落ち着きません。高騰したといえれば米の価格ですが原因は米が不足したことです。米不足は複数の要因が重なった結果だと考えられています。まず米作り農家の減少と前年度の米の不作が挙げられます。さらに、今年

は災害などの影響により販売数量が多くなりました。5月ごろから販売数量が伸び始め、8月19日〜25日の期間では前年比約49%増加しました。これは8月に発生した日向灘の地震に続いて南海トラフ巨大地震の臨時情報が出されたり台風10号が各地で大雨暴風の猛威を

ふるったりしたこと、消費者が米の買いだめを行ったことが要因のひとつと考えられます。そのため、収穫数が減っているにもかかわらず災害などを理

か落ち着きません。高騰したといえれば米の価格ですが原因は米が不足したことです。米不足は複数の要因が重なった結果だと考えられています。まず米作り農家の減少と前年度の米の不作が挙げられます。さらに、今年

は災害などの影響により販売数量が多くなりました。5月ごろから販売数量が伸び始め、8月19日〜25日の期間では前年比約49%増加しました。これは8月に発生した日向灘の地震に続いて南海トラフ巨大地震の臨時情報が出されたり台風10号が各地で大雨暴風の猛威を



由に需要が急増したため米不足が発生したと考えられます。

我々生産者は、自然環境の変化やいつ襲われるかわからない災害に対応し、その中で市場の動向を見極めて運営していかなければいけないと考えた一年間でありました。組合員の皆さんに信頼される組織づくりを心掛け来年も頑張ります。

見学したのは精米設備と倉庫です。精米施設はもちろん倉庫は常

温と温調を完備したものがあ設備投資がしっかりされている印象をうけました。玄米より精米する生産ラインには3回の色彩選別と砂粒の石英も除去する多段階の工程を採用して異物混入をほぼ完全に防止し、1日に20〜30トンの処理を行っていました。また、生産ラインで選別落ちした米や碎米に至るまで自動で集積して家畜の飼料などとして流通先を確保されていること、温調完備された倉庫には30kg袋が6万袋格納できる可動棚を備えていること、加えてそれを扱う職員の方々も丁寧に作業をされていること、それぞれ細部にまで配慮が行き届いている状況に感銘を受けました。

今年明石屋へは、玄米約47ト、ふるい下くす米約19トを出荷しました。引受体制も充実しており、のきの郷ライスセンターの稼働率向上の一助となって頂いたところで

す。

11月28日に今年から米を出荷している(株)明石屋へ米の流通状況の把握および他社の社風を学ぶことを主な目的として、職員と理事を含めて8名で見学に行かせて頂きました。

今年明石屋へは、玄米約47ト、ふるい下くす米約19トを出荷しました。引受体制も充実しており、のきの郷ライスセンターの稼働率向上の一助となって頂いたところで

す。

11月28日に今年から米を出荷している(株)明石屋へ米の流通状況の把握および他社の社風を学ぶことを主な目的として、職員と理事を含めて8名で見学に行かせて頂きました。

今年明石屋へは、玄米約47ト、ふるい下くす米約19トを出荷しました。引受体制も充実しており、のきの郷ライスセンターの稼働率向上の一助となって頂いたところで

す。

11月28日に今年から米を出荷している(株)明石屋へ米の流通状況の把握および他社の社風を学ぶことを主な目的として、職員と理事を含めて8名で見学に行かせて頂きました。

今年明石屋へは、玄米約47ト、ふるい下くす米約19トを出荷しました。引受体制も充実しており、のきの郷ライスセンターの稼働率向上の一助となって頂いたところで

す。

松江市宍道町  
株式会社 明石屋  
視察研修報告  
飯塚晃史





## 田んぼの様子

がっています。小麦の播種も終わろうつすらと緑の条が見えてきました。菜種と小麦は白鳥ロードを挟んでの作付けなので春には緑と黄色のコントラストを楽しむことが出来そうです。

大豆の刈取りが始まりました。今年は株間を広くするなど作付け方法の変更を行っています。収量などの結果を待ちます。菜種の小さな葉が田んぼ一面に広がっています。

キャベツの収穫が始まりました。まだ小ぶりですが大きくなったものから順次収穫しています。ハウスの作物を見ると、とまとは今月で収穫を終了する予定です。いちごは花が咲き始めハウス内ではミツバチが飛び回っています。収穫開始は12月中旬を予定しています。ぶどうは冬支度を始めています。落葉したら剪定が始まります。



### ★お知らせ

◎令和6年分確定申告に必要な書類は12月20日頃送付します。  
◎JA賦課金助成として全戸一律15000円を12月20日頃支払い

ます。

◎地代は12月末にしまね農業振興公社よりの支払われます。のきの郷との受委託契約については12月20日頃支払いします。

品種	反収 kg
つや姫	507
にじのきらめき	398
きぬむすめ	516
にこまる	468
ハクトモチ	332

処理場所	面積比率
JA施設	53%
のきの郷	47%

令和6年産米の収量と施設の利用状況を報告します。米の収量は10a当たりです。

## 令和6年産米収量

### 安来市農林業祭出店

10月27日に伯太庁舎駐車場にて安来市農林業祭が開催され、のきの郷も恒例の新米すくい取りとなたね油やトマトなどの販売で出店しました。空模様と言えば途中雨も降りましたがおおむねは曇りで、会場は汁物の無



料配布や大抽選会があり盛り上がっていました。

お悔やみ申し上げます

利弘 井塚 一男 様



ちよっこし聞いて

毎年少しずつ1年がたつのが早くなっている気がします。これって年齢のせいでしょうか。日々何かに追われるように時間が過ぎ後ろを振り返ると何も出ていない(泣)。なんかさみしい話題になりましたが、もうすぐ新しい年がやっていきます。今年の悔いを残さないよう今更ながらあとひと月充実した日々を過ごしたいと思えます。皆様もよいお年をお迎えください。(さ)

